

国際アルコール医学生物学会（ISBRA）は
アルコール依存症の医学生物学的研究を国際的に推進します。
皆様の会員登録 / 参加をお待ちしています

ISBRA には以下のような重要な使命があります。

- 1) アルコール依存症の医学生物学的研究を促進する。
- 2) 研究の情報及びその結果から導かれた理論を普及させる。
- 3) 研修及び研究者/研修生の国際的な交流を促進する。
- 4) アルコール関連問題及び医学生物学上の諸問題について国内外の機関にアドバイスする。
- 5) 国際的な学術会議・研究会・講演を行う組織を通じ国際協力を促進する。
- 6) 重要な研究結果について、その研究の研究者と同等の研究者が再検討した刊行物、及び公表価値ある情報として報告書に関わることを通し、この普及を援助する。

会員登録申し込みについて

既にその地域の ISBRA 提携学会 (以下の **提携学会** のリストを参照して下さい) に属し、会費を納めている方はインターネット画面上の **ISBRA 会員申請書** に必要事項を記入するだけで ISBRA の会員登録申し込み手続きは完了です (ご質問・お問い合わせは isbra@isbra.com の Michelyn Lintz までご連絡下さい)。会員年会費は 35 ドルです。提携学会の会員でない方の場合は最新の履歴書と会員申請書を提出していただく必要があります。会員年会費は 60 ドルです。必要事項はすべてインターネットにて提出していただけます。

会員委員会は年に 4 回新しい会員の **入会審議** を行います。申請書の締切日は 1 月 2 日、4 月 1 日、7 月 1 日、10 月 1 日です。ISBRA への正式な入会は書面にて通知いたします。

今入会すると札幌で開催される次回総会に割引料金にて参加できます！

会員の特典:

- 2 年に 1 回ヨーロッパ、アジア、アメリカなどの有名な場所で開催される学会の参加費が割引になります。

会員は皆シンポジウムのオーガナイズとポスター発表をするよう期待されています。若い研究者達が会議に参加する費用を援助するため、国立保健研究所（NIH）、国立アルコール症研究所（NIAAA）の補助金による旅費のための奨学金が利用できるようになっていきます。

最近及び今後の会議開催地:

2014年 ワシントン州シアトル（米国）

2012年 札幌（日本）

2010年 パリ（フランス）

2008年 ワシントン DC（米国）

2006年 シドニー（オーストラリア）

2004年 ハイデルベルグ（ドイツ）

□ 総会における各国からの著名な研究者による発表:

2010年総会 Susumu Higuchi、Kenneth Kendler、Michel Lejoyeux、Karl Mann、
Tamara Phillips、Pier Vincenzo Piazza

2008年総会 Andrew Allen、Kenneth Buetow、Andrey Gorin、Yury Khudyakov、
Dan Nicolae、Kwok Tsui

2006年総会 Sarah Dunlop、Ian Kitchen、Ting-Kai Li、Marc Schuckit、
Takeo Yoshikawa

2004年総会 Christine Godfrey、Adron Harris、Ting-Kai Li

□ 国際科学雑誌「Alcoholism: Clinical and Experimental Research」は当学会および全米アルコール学会（RSA）の学会誌です。RSAの会員費にはこの雑誌の定期購読料が含まれています。RSAの会員でない方の場合、ISBRAの会員なら、特典としてこの雑誌の定期購読料が割引料金の110ドル（米国人会員）または150ドル（非米国人会員）になります。この定期購読料には書籍代と電子書籍の利用料（無制限）が含まれます。

□ 世界各国の研究者にアクセスし、共同研究を促進しています。

ISBRAには地域別に以下の5つの提携学会があります。

- European Society for Biomedical Research on Alcoholism (ESBRA)
- 日本アルコール・薬物医学会（Japanese Medical Society of Alcohol & Drug Studies, JMSAS)
- Research Society for Alcoholism (RSA) 北アメリカ

- Asia-Pacific Society for Alcohol and Addiction Research (APSAAR)
- Latin American Society for Biomedical Research on Alcoholism (LASBRA)

[注) LASBRA は 2011 年 4 月に ISBRA の完全な提携学会になりますので、LASBRA の会員で ISBRA に参加したい方はこの日より以前に履歴書と会員登録申請書を提出して下さい。]

- 旅費奨学金及び研究のための顕著な研究に対する賞の受賞資格について

例として次の賞があります

若い研究者のための会長賞

大学院生及び博士号取得後の研究者がアルコール/アルコール依存症の知識増進に寄与した功績に対し授与されます。受賞候補者の抄録及びポスター、講演は専門委員会が審査し、受賞者には賞金と記念の額が贈られます。

一つの会議で5つまでこのような賞が授与されます。

ジェリネック記念基金賞 (RSA と共同)

アルコール/アルコール依存症の知識増進に寄与した功績に対し授与されます。毎年アルコール/アルコール依存症の分野での知識増進に顕著な貢献をした研究者にこの賞が授与されます。その年の対象部門はジェリネック記念基金の役員会にて特定されます。受賞者はこの賞が属する分野で働く人達が魅力を感じて仕事ができるよう、その模範とならなければなりません。

最近の受賞者:

Jim Orford (2010 年)、Paula Hoffman (2008 年)、Bridget Grant (2007 年)、
Marc Schuckit (2006 年)、Thomas Babor (2005 年)、R. Adron Harris (2004 年)